

気 象

【概 況】

【平成14年の気象の特徴】

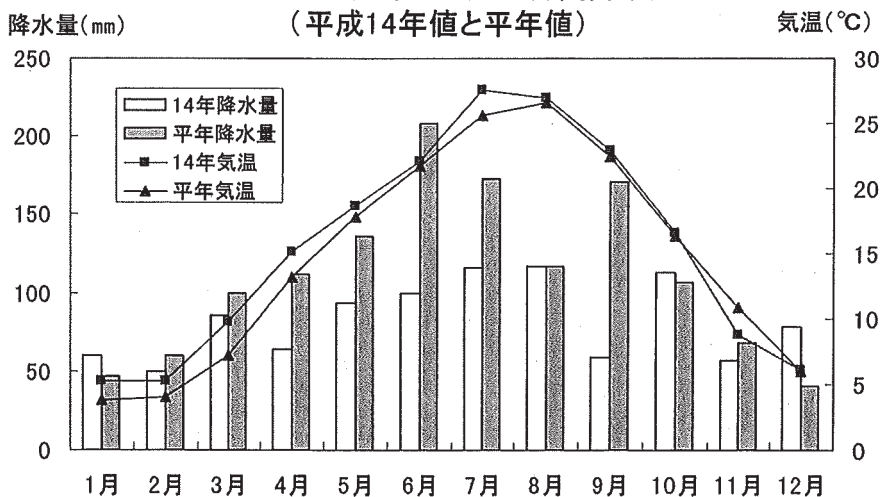
- ・冬の気温は12月が平年並で、1～2月は高温。
- ・春は高温で、少雨。
- ・特に、3月は記録的な高温で多照。
- ・桜の開花（3月20日）は最早。
- ・5月の寡照。
- ・梅雨入り・梅雨明けは平年並で、梅雨期間は少雨。
- ・6～7月は高温（ただし、6月下旬は低温）・少雨・多照。
- ・9月の少雨。
- ・11月は記録的な低温。
- ・初冬の多雨、寡照。

【月別の気象概況】

- 1月： 上旬は、旬の初め頃を中心に一時冬型の気圧配置が強まったが、気温は寒暖を繰り返して平年並に経過した。中旬は、暖かい移動性高気圧に覆われたり、旬の中頃には日本海の前線や低気圧に向かい南海上から暖かく湿った空気が流入し、気温はかなり高くなった。下旬は、冬型の気圧配置の日も多かったが、旬の初めと中頃に低気圧が通過して降水量が多くなり、気温は高くなった。
- 2月： 上旬の終わり頃と中旬は、中旬の半ば過ぎを除いて冬型の気圧配置が続き、気温は低くなった。その他の日は、天気は周期的に変化し、暖かい移動性高気圧に覆われたり低気圧や前線の影響で南海上から暖かく湿った空気が流入して、気温は高く経過した。
- 3月： 全般に、天気は概ね数日の周期で変化し、一時冬型の気圧配置となった上旬の半ば過ぎと下旬の初め頃を除き、暖かい移動性高気圧に覆われたり日本海の低気圧に向かい南海上から暖かく湿った空気が流入した中旬を中心に、気温はかなり高く経過した。なお、20日には奈良地方気象台で統計開始（1953年5月）以来、最も早く桜（ソメイヨシノ）が開花（平年より12日早く、昨年より6日早い）した。
- 4月： 全般に天気は概ね数日の周期で変化した。上旬の前半は、日本の南海上に中心を持つ高気圧に覆われ晴れの日が多く、気温はかなり高くなった。上旬の後半以降は、日本海を通過した低気圧や寒冷前線の影響で南海上から暖かく湿った空気が流入して曇りや雨の日が多くなり、気温は高く経過した。しかし、寒冷前線が通過した月の半ば過ぎを除き、降水量は少なかった。
- 5月： 上旬と中旬は、低気圧や前線の影響で、曇りや雨の日が多かった。下旬は、日本の南海上や東シナ海の高気圧の圏内で晴れの日が多くなったが、旬の後半には上空の寒気の影響で大気の状態が不安定となり、雷雨となった日もあった。また、一時寒気の影響を受けた上旬の終わり頃や中旬の後半を除き、気温は概ね高く経過した。
- 6月： 上旬は、移動性高気圧や日本の東海上の高気圧の圏内で晴れの日が多く、気温はかなり高くなった。中旬に入ると、梅雨前線が日本海から南下し、11日頃に近畿地方は梅雨入り（平年6月6日頃、昨年6月5日頃）したと見られる。入梅後は、梅雨型の気圧配置が続いて曇りや雨の日が多かったが、平年に比べ前線の活動が不活発だった。このため、6月の降水量は少なかった。また、下旬に入ると、涼しいオホーツク海高気圧の圏内となつて上空に寒気が流入し、気温はかなり低くなった。
- 7月： 全般に、梅雨型の気圧配置は長続きせず概ね夏型の気圧配置となつて、気温はかなり高く経過した。上旬から中旬にかけては、梅雨前線や台風の影響で南海上から暖かく湿った空気が流入し、大気の状態が不安定となり一時雨の降った日が多かった。また、中旬の終わり頃には梅雨前線が日本海へ北上し、20日頃に梅雨明け（平年7月19日頃、昨年7月19日頃）した。梅雨明け後は、概ね太平洋高気圧の圏内となり、晴れて気温が上昇した。

- 8月：概ね太平洋高気圧の圏内で気温は高く経過したが、中旬の終わり頃から下旬の中頃にかけては大陸からの涼しい高気圧の圏内となって一時気温が低くなった。また、上空の寒気・日本海の停滞前線・日本の南海上を通過した台風等の影響で大気の状態が不安定となり、雷雨となった日も多かった。
- 9月：上旬の前半は、太平洋高気圧の圏内となって、晴れて残暑の厳しい日が続いた。上旬の後半からは天気は周期的に変化するようになり、中旬の初め頃は一時暑さが戻ったが、中旬の半ば過ぎから下旬の中頃にかけては大陸からの涼しい高気圧の圏内となって、晴れても平年に比べ気温の低い日が多くなった。また、全般に少雨傾向が続き、降水量はかなり少なかった。
- 10月：上旬から中旬にかけては、天気は周期的に変化し、上旬の終わり頃から中旬の初めにかけて一時寒気が流入した他は、暖かい移動性高気圧の圏内となって晴れた日が多く、気温は高く経過した。下旬になると、北西の季節風が吹くようになり寒気の影響で一時的雨となった日が多く、特に旬の半ば過ぎ以降は寒気が南下して、気温は低くなった。なお、27日は、冬型の気圧配置が強まり昨年より10日早く「木枯らし1号」が吹いた。
- 11月：上旬は、冬型の気圧配置が続いて真冬並の強い寒気が南下し、低気圧や前線の影響で一時的暖気が流入した旬の初めと半ば過ぎを除き、平年に比べて気温はかなり低くなった。中旬以降も、中旬の初めや下旬の中頃に前線や台風等の影響で暖気が流入した他は、周期的に冬型の気圧配置となって、気温の低い状態が続いた。なお、7日に初霜（平年より2日早く、昨年より8日早い）、20日に初氷（平年より3日早く、昨年より18日早い）を観測した。また、月平均気温8.8℃は、11月として低い値の第1位を記録した。
- 12月：上旬の終わり頃から中旬の前半にかけてと下旬の後半は、冬型の気圧配置が続いて、気温は低くなった。その他の日は、天気は周期的に変化し、低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多く、南海上から暖かく湿った空気が流入し、気温は高く経過した。なお、10日は冬型の気圧配置が強まり、初雪（平年より9日早く、昨年より14日早い）を観測した。

奈良市の月別平均気温と月間降水量



(注) 平年値とは1971年から2000年の平均
資料：奈良地方気象台

奈良市の月別気象

年月別	気 温 ℃			湿度 %	降 水 量 mm		風 速 m/s	
	日平均	日最高平均	日最低平均	平均	年(月)量	最大 1時間量	平均	最大瞬間
平成10年	16.0	21.1	11.6	74	1,693.0	32.5	1.4	37.6
11	15.3	20.8	10.6	71	1,390.5	75.0	1.4	22.8
12	15.1	20.7	10.4	73	1,319.5	79.0	1.4	20.6
13	15.1	20.7	10.4	71	1,189.0	35.5	1.4	23.1
14	15.4	21.1	10.7	71	990.0	37.5	1.4	19.3
14年1月	5.3	9.9	1.1	69	60.0	8.5	1.9	19.1
2	5.3	11.0	0.8	71	49.5	4.5	1.4	13.1
3	9.8	16.6	3.5	63	85.0	9.5	1.7	19.3
4	15.1	22.2	9.4	66	64.5	8.0	1.5	15.6
5	18.6	24.3	13.6	71	93.0	8.0	1.3	13.7
6	22.1	27.8	17.1	72	99.5	19.5	1.2	9.4
7	27.6	32.9	23.4	73	116.0	37.5	1.5	18.5
8	27.0	33.0	22.5	70	116.5	30.5	1.5	14.8
9	22.9	28.2	18.3	74	68.5	15.0	1.2	12.7
10	16.6	22.5	12.0	75	112.5	15.5	1.2	14.5
11	8.8	14.4	4.2	70	57.0	8.0	1.3	16.5
12	6.1	10.7	2.2	75	78.0	8.0	1.5	15.4

資料：奈良地方気象台「奈良県の気象」

県内各地の気象

(平成14年)

気象項目別	奈良	針	大字陀	五條	上北山	風屋
年平均気温 ℃	15.4	12.6	13.3	15.3	13.8	13.8
日最高気温(年平均) ℃	20.5	17.2	18.7	20.9	19.3	19.0
日最低気温(年平均) ℃	10.9	8.1	8.3	10.4	9.6	9.8
年間降水量 mm	989	1,302	1,159	997	2,529	2,122

資料：奈良地方気象台「奈良県の気象」

奈良県で感じた主な地震

(平成14年)

月日	発現時分	震 度				震 央 位 置		深さ km	マグニ チュード	震央地名
		奈良	平群	桜井	大淀	東経	北緯			
1月4日	13時18分			1		135度38分06秒	33度56分36秒	11.7	3.9	和歌山県北部
3月28日	4時42分			1		135度39分12秒	33度57分00秒	11.4	3.6	奈良県地方
4月28日	10時34分	1				136度04分48秒	34度42分24秒	55.6	4.3	三重県中部
6月19日	4時51分	1				135度45分48秒	34度43分24秒	13.3	2.9	奈良県地方
8月11日	23時00分	1	1			135度57分06秒	34度00分42秒	47.3	3.9	奈良県地方
8月12日	22時37分			1		135度38分30秒	34度16分12秒	67.4	3.9	和歌山県北部
9月4日	18時06分	1				136度20分54秒	35度27分06秒	38.5	4.1	滋賀県北部
9月16日	10時10分	1				133度44分30秒	35度22分00秒	9.6	5.3	鳥取県中・西部
9月20日	20時16分	1				135度36分00秒	34度57分00秒	10.2	3.3	大阪府北部
10月29日	18時55分			1		135度44分30秒	34度08分54秒	55.5	3.8	奈良県地方
11月19日	18時36分	1				136度18分30秒	35度27分00秒	13.5	4.2	滋賀県北部
12月17日	7時17分			1		135度36分06秒	33度31分54秒	11.3	4.3	和歌山県南部

有感地震観測回数 奈良市半田開町： 7回 平群町鳴川： 0回
桜井市池之内： 6回 大淀町絵垣本： 1回

資料：奈良地方気象台「奈良県の気象」

(注) 各要素は精密調査の結果により後日修正されることがある。